

- (2)「これからの医療提供体制を考える～地域医療構想・働き方改革・医師確保～」
藤井睦子(大阪府健康医療部部長)
- (3)「人口構成の変化に伴う医療介護に求められている変化」
今村知明(公立大学法人奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授)
- (4)「共生型社会に貢献する看護の新たな働き方～人口減少時代を見据えて～」
齋藤訓子(公益社団法人日本看護協会副会長/関東学院大学看護学部看護研究科教授)
2. 臨床スタッフの負担を軽減するーポリファーマシー多職種による対策・連携ー
座長：折井孝男(NTT東日本関東病院Senior pharmacist)
落合慈之(東京医療保健大学学事顧問室)
- (1) 基調講演「市販後安全対策における医薬品適正使用の推進ーポリファーマシー対策と育薬、医療安全の確保ー」
中井清人(厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長)
- (2)「入院中の減薬をかかりつけ薬剤師に引き継ぐ」
高柳和伸(公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤本部長)
- (3)「多職種による患者情報の共有化と処方適正化」
村岡修子(NTT東日本関東病院看護部看護長)
- (4)「生活を取り戻す薬の管理ー多職種連携のカー」
稲川利光(カマチグループ関東本部リハビリテーション関東統括本部長/原宿リハビリテーション病院)
3. これからの医療・介護領域を見据えた経営面からの栄養マネジメント～栄養管理情報の連携と栄養マネジメントが日本を救う～
座長：若林秀隆(東京女子医科大学病院リハビリテーション科教授・診療部長)
幣憲一郎(京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部副部長)
- (1)「集学的栄養治療で患者を救う・日本を救う」
山中英治(社会医療法人若弘会若草第一病院外科院長)
- (2)「栄養管理とその情報連携ー摂食嚥下障害看護の役割からー」
西依見子(Taste & See)
- (3)「生活期・維持期リハビリテーションの栄養管理」
仲原元清(社会医療法人慈薫会河崎病院リハビリテーション科科長代理/社会医療法人慈薫会介護老人保健施設大阪緑ヶ丘)
- (4)「これから求められる食事提供の在り方」～医療・介護・在宅の連携を目指して～
東條桂子(社会医療法人生長会クックチルシステム研究所所長/ベルキッチン京都大学医学部附属病院事業所所長代理)
4. 災害時におけるBCP
座長：高橋 毅(国立病院機構熊本医療センター院長)
楠本茂雅(社会医療法人生長会クオリティ・マネジメント本部長)
- (1)「災害医療現場の実相に見るBCPの在り方～サリン、原発、コロナ…想定外の現場から～」
近藤力也(陸上自衛隊部隊訓練評価隊隊長)
- (2)「なぜBCPは広まらないのか？～わたしの失敗と挑戦～」
中島 康(東京都立広尾病院減災対策支援センター部長)
- (3)「令和2年7月豪雨災害を経験して～水害に対するBCP～」
木村正美(独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター病院長)
5. 特定行為研修制度のこれからの発展
座長：増本陽秀(株式会社麻生飯塚病院院長)
太田秀樹(医療法人アスミス理事長)
- (1)「上尾中央総合病院における特定行為研修の基本方針」
長谷川剛(医療法人社団愛友会上尾中央総合病院情報管理特任副院長)
- (2)「日本看護協会が特定認定看護師を育成する意義」
荒木暁子(公益社団法人日本看護協会常任理事)
- (3)「藤田医科大学病院における診療看護師、特定看護師の特定行為の現状」
岩田充永(藤田医科大学救急医学・総合内科学教授/藤田医科大学病院副院長)
- (4)「大学院におけるクリティカル領域の特定行為教育」
大島久二(東京医療保健大学副学長・看護学研究科長)
- (5)「特定行為研修へのかかわりと今後に期待すること」
岡 敬二(社会医療法人敬和会理事長)
6. 医療安全を感染対策の視点から考える
座長：賀来満夫(東北医科薬科大学医学部感染症学教室特任教授/東北大学名誉教授)